愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	英語Ⅰ		
担当者(Instructors)	山口 佐和子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業では、学生と教員のインタラクティブ・アクティヴィティ（双方向的活動）を通じ、基礎的な英語力を獲得することを目的とする。必要に応じて英語の初歩に立ち戻り、語彙や文法の知識を深め、リーディング・スピーキング・リスニング・ライティングの基礎力を向上させ、英語コミュニケーション能力を高める授業を展開する。ビジネス、海外留学、海外旅行時に役立つ欧米圏の文化・慣習もあわせて紹介する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テキストの各Unitを丁寧に読み進めながら、同時に教員の用意する教材プリントも使用する。グループディスカッション、ペアワーク、プレゼンテーション、グループ対抗ゲームなどのアクティブラーニングの方法を取り入れる。時間が許せば、洋楽楽曲の歌詞分析や映画評論を読む。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	【対面】授業概要、授業計画、成績評価、履修上の注意などを説明する。	□
第2回	Unit 1 From My Heart To Yours (1)	【対面】「代名詞」のはたらきについて解説する。新しい単語・熟語について説明をする。テキストを使った会話練習をパートナーと行ってもらう。	□
第3回	Unit 1 From My Heart To Yours (2)	【対面】リスニング学習、長文読解、英作文に取り組んでもらう。	□
第4回	Unit 2 To Be or Not To Be (1)	【対面】「be 動詞」のはたらきについて解説する。新しい単語・熟語について説明をする。テキストを使った会話練習をパートナーと行ってもらう。	□
第5回	Unit 2 To Be or Not To Be (2)	【対面】リスニング学習、長文読解、英作文に取り組んでもらう。	□
第6回	Unit 3 Too Many Calories? (1)	【対面】「名詞」のはたらきについて解説する。新しい単語・熟語について説明をする。テキストを使った会話練習をパートナーと行ってもらう。	□
第7回	Unit 3 Too Many Calories? (2)	【対面】リスニング学習、長文読解、英作文に取り組んでもらう。	□
第8回	前半のまとめ	Unit 1, Unit 2, Unit 3の内容について質問を受け付けて、解説する。 英語ゲームなどアクティヴィティを行う。	□
第9回	Unit 4 Life With A Roommate (1)	【対面】「冠詞と限定詞」のはたらきについて解説する。新しい単語・熟語について説明をする。テキストを使った会話練習をパートナーと行ってもらう。	□
第10回	Unit 4 Life With A Roommate (2)	【対面】リスニング学習、長文読解、英作文に取り組んでもらう。	□
第11回	Unit 5 I'll Take A Vacation! (1)	【対面】「一般動詞」のはたらきについて解説する。新しい単語・熟語について説明をする。テキストを使った会話練習をパートナーと行ってもらう。	□
第12回	Unit 5 I'll Take A Vacation! (2)	【対面】リスニング学習、長文読解、英作文に取り組んでもらう。	□
第13回	Unit 6 How Is The Weather? (1)	【対面】「疑問文」のはたらきについて解説する。新しい単語・熟語について説明をする。テキストを使った会話練習をパートナーと行ってもらう。	□
第14回	Unit 6 How Is The Weather? (2)	【対面】リスニング学習、長文読解、英作文に取り組んでもらう。	□

第15回	後半のまとめ	Unit 4, Unit 5, Unit 6の内容について質問を受け付けて、解説する。 英語ゲームなどアクティヴィティを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

予習：授業計画を毎回確認し、授業の開始前までにテキスト内の自分の知らない単語や熟語について調べておく。またテキスト以外の教材プリントを配布する場合があるが、それについても自分の知らない単語や熟語について調べておく。（30分程度） 復習：自分の知らなかった単語や熟語を覚える。そのほか授業で学んだ事柄を復習し、理解できない点があれば、次の授業で教員に質問できるようにノートにまとめておく。（30分程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題を出した場合は、翌週にまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	**◆ 2019全学共通DP1**	欧米圏の社会・文化を理解できる。 英語の基本的な構造や基礎的な単語の知識を習得し活用できる。
思考力・判断力・表現力	**◇ 2019全学共通DP2**	英語の簡単な表現を使って自己表現ができる。 英語を話す相手の言葉を確認しながら理解し、判断をし、適切なコミュニケーションをとることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
60%			40%	

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	Mark D. Stafford, 妻鳥千鶴子、松井こずえ『English Insight-An Integrated Approach to Language Learning』センゲージラーニング株式会社	978-4-86312-280-2
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	英和・和英辞書	
2		
3		
4		
5		